

第5回 高根沢町学校規模適正化検討委員会 議事録

日 時 令和4年5月19日(木) 午後6時30分～午後7時50分

場 所 高根沢町農村環境改善センター 研修室

出席者

(委員) 佐藤(栄)委員長、小堀副委員長、森委員、佐藤(晴)委員、牧委員、岩崎委員、吉澤委員、荒関委員、五月女委員、見目委員、檜原委員、高橋委員、増田委員、鈴木委員、榎本委員、小池委員、加倉井委員、郡司委員、飯山委員、石山委員、加藤(正)委員

(事務局) 坂本美知夫教育長

福田課長、小林課長補佐、福山管理主事、今平指導主事、渡邊係長、林主事

1 開会

2 教育長あいさつ

お集まりいただきましてありがとうございます。検討委員会も5回目となりました。委員の皆様の実験、お立場はそれぞれでございますが、基礎資料の説明やアンケート結果報告等を通して情報量が平準化され、回を追うごとに広範囲にわたっていたご意見が焦点化されてきたと感じています。前回ご案内したとおり、今回はグループ協議といたしますので、本音の意見を出し合っただけであればと思います。どうぞよろしく願いいたします。

3 新委員紹介

(新年度に新たに委嘱した委員を事務局から紹介)

4 議事要約

議長(副委員長)	<p>それでは、議事を進めてまいります。本日はグループ協議となりますので、グループ協議をどのように進めるのかを含め、今後の検討の進め方などについて、4点に分けて説明させていただきます。</p> <p>まず、今後の検討の進め方や見通しについてであります。事務局からの資料説明は第4回会議でほぼ終了しましたので、第5回からは本格的な議論となります。グループワークにおいて、テーマに沿って活発な協議、忌憚のない意見をお願いします。現在の委員でもって、答申をまとめる必要がありますので、遅くとも年度内に何かしらの方向性が決められるよう、計画的に見通しをもって進めたいと考えています。</p> <p>2点目は、「答申」の範囲や意味についてです。</p> <p>当検討委員会が諮問されている内容は、「学校の適正規模、適正配置及び通学区域等に関する事」でありますので、そのことについて「答申」するものであり、逆に言えば、答申されていない内容については答申できないということになります。ただし、諮問内容以外の意見については「付帯意見」として付けることができますので、「このような教育に取り組んでほしい」とか「このようなやり方で取り組んでほしい」というものは、付帯意見として、町に意見を伝えることとなります。</p> <p>また、答申は、町の施策の「決定」ではないことをご確認ください。あくまで検討委員の意見を委員会の意見としてとりまとめて、町に返すのが「答</p>
----------	--

	<p>申」であり、最終決定ではないことを再確認できればと思います。</p> <p>答申の内容としては、「町が作る『学校規模適正化の基本計画』の(案)」というような内容にまで、適正化の方向・方法・時期を具体化できればベストですが、例えば、方向性程度までしかまとめることができなくとも、それで答申することはあります。「望ましい学校規模の考え方」から順番に、徐々に議論内容を深めていきたいと考えております。</p> <p>町では、答申を受けた後、答申を最大限尊重して、町の計画を策定することになり、計画策定後は、さらに地域ごと・学校ごとに合意形成を図りながら進めていくこととなります。</p> <p>3点目は、アンケート結果の位置づけについてです。アンケート結果・意見は、あくまで検討の参考にするための「資料の1つ」であり、この検討委員会は、“アンケート結果を100%正確に反映させる”という役割ではないこと、アンケートなどの資料を踏まえた上での「委員の意見や考え」を取りまとめることが役割なので、アンケート結果を踏まえつつも、各委員の意見でもって協議を進めることとなります。</p> <p>最後に、グループワーク協議の進め方についてです。次回会議では、宇大にご協力をいただき、また別の資料を検討材料とする方向性を持っていますので、引き続き3回程度はグループワークでの協議を考えております。グループ分けについては、委員長・副委員長を除き、3班体制としました。各グループの中で「進行担当」と「発表担当」を決めていただき、設定したテーマに沿って意見を出して行ってください。グループ内で出た意見を整理し、グループごとに発表をお願いいたします。最後に、委員長・副委員長が、総評いたします。時間としましては、約30分程度協議したいと思います。</p> <p>協議テーマは、「1学級当たりの人数、1学年当たりの学級数」とします。</p> <p>(それぞれ班ごとに協議を実施)</p> <p>議長(副委員長) それでは、1班から順に発表をお願いします。</p> <p>1班 発表者 1クラスの適正人数については、小学校も中学校も共に、25～30名程度が適正であろうという意見でした。理由としては、中学校は部活動のほか、様々なグループ活動をするのに適切な人数であること。小学校と比較すると中学校の方がグループ人数は大きくなること。小学校において、様々な子どもたちに対応することを考えると、教員の目が届く範囲は20名後半が限界ではないかということでした。教員の資質も関わっており、近年、教員を目指す若者が少なくなり、教員確保が難しい現状がありますが、教員の資質も様々である中で、現状の35人学級では対応が難しいという意見でした。</p> <p>また、低学年の子どもたちは手がかかるので、町の「幼保小連携」等の取組は効果を上げているものの、小学校低学年に限っては、20名程度がいいのではないかという意見でした。</p> <p>次に、1学年の学級数については、小学校については2～3クラス、中学校については「2～3クラス」または「3クラス以上6クラスまで」に意見が分かれました。理由としては、「クラス替えができる規模」であること。特に小学校で6年間同じ集団で生活すると、メリットもあるがデメリット</p>
--	--

2班 発表者	<p>も出てきてしまうということでした。中学校も同様の考え方です。また、中学校は教科担任制なので、教科担任の教員を確保するためには、ある程度のクラス数が必要という意見でした。</p> <p>様々意見を出し合ったのですが、1学級の人数については、先ほどの1班と同じように、20～30名というのが全体的な意見でありました。また、低学年は少ない方がいいという意見も同じように出ました。理由としては、人と人とのつながりや、教員の目の届く範囲という観点から考えたものです。少人数であると、子どもたちが悩んだときやトラブルになったときにリセットができないとか、同じ仲間内で固まってしまうために中学校に進んだときに上手くなじめないなどのデメリットが生じるため、ある程度的人数が必要であるという意見でした。</p> <p>次に、1学年の学級数については、まず、児童生徒への様々な指導のしやすさから、「複数のクラス」があった方がいいであろうということになりました。先生方の意見を踏まえると、3クラス以上あれば計画を作りながら楽しくできるというところや、16クラス以上あれば教員が1名増えて教科担任制に対応していけるなどの実態から、3クラス以上が望ましいという意見でした。</p> <p>そのほか、小規模特認校やフリースクールのようなところが必ず必要になるという意見もありました。また、中学校については、学区のバランスをどう考えるべきか、更には、学校を集約した場合は、教室数の確保が必要になるという意見も出ました。</p>
3班 発表者	<p>1班・2班とほぼ同じような意見になったと思います。1学級の人数については、25名程度が理想であろうという意見になりました。もっと少ない方がいいのではないかという意見も出されましたが、子ども同士の学び合いという観点からすると、あまり人数が少ないとそのような機会が失われてしまうのではないかというところから、20～25名程度という意見となりました。</p> <p>1学年の学級数については、「1学級25名」を原点に考えたところ、小学校も中学校も、3クラス程度あった方が、効果的な学校運営ができるのではないかという意見でした。</p>
議長(副委員長)	<p>ありがとうございました。それでは、佐藤委員長から講評として、ご意見を願いたいします。</p>
委員長	<p>活発な議論お疲れさまでした。人数やクラス数のについては、皆さん同じような意見を持たれているのかなと感じました。その中で、「これが付帯意見としてついてくるのであろうな」という意見がいくつかありました。子どもの環境を考える上で、「教員の仕事量・余力など教員側から考える」、「教科担任制など学校運営面から考える」、「教員の質から考える」、「スポーツや競技から考える」、「障害などの子どものサポートの状況から考える」、「子ども同士の関係から考える」「物理的な教室の数から考える」など、いろいろな観点が出されていました。それぞれ観点により導き出される数字は変わっ</p>

議長（副委員長）	<p>てきますが、今回、皆さんの意見では20～30人というところですので、国が示している数字よりは少ない数字となっています。これが、町に返していく数字の素案になっていくのだろうと感じました。ただし、観点や考え方はたくさんありますので、それを一気にまとめていくのは難しいと思います。今日はたくさんの考え方や意見が出てよかったと思います。</p> <p>ありがとうございました。次回以降の会議の進め方につきましても、本日より同じように協議を進めて、議論を深めてまいりたいと考えております。本日の協議は以上となります。</p>
A委員	<p>次回もグループ討議であるのならば、事前にテーマを教えていただけると考えることができるのかなと思います。</p>
事務局（課長）	<p>次回については、会議の開催通知の際に議題について提示したいと考えております。それでは、以上をもちまして、第5回会議を閉会します。</p>